

2017年4月26日

千葉県知事
森田健作様

生活協同組合パルシステム千葉
理事長 佐々木 博子

2016年度 ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

1. 報告

生活協同組合パルシステム千葉「ちばSSKプロジェクトに関する取り組みの年間計画」について、2016年度のちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2016年度計画のまとめ

生活協同組合パルシステム千葉は、商品の宅配など日々の業務と組合員と活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

■宅配事業および夕食宅配事業において高齢者の見守り活動に取り組み、異変を察知した場合には、119番通報、警察署、市町村へ連絡する旨を事業所に周知しました。

II 「ちばSSKプロジェクト」

- 事業案内パンフレットにSSKプロジェクトの取り組みやロゴマークを紹介し、啓発を行いました。
- 市町村との見守り協定締結をすすめ、協定を結んだ自治体の数は46となりました。引き続き取り組みを行っていきます。

III 認知症対策

- 組合員を中心に、地域での認知症サポーター養成講座や認知症予防講座開催に協力しました。
- 地域における認知症徘徊SOSネットワーク事業へ参加・協力し、徘徊などの情報を共有し、捜索活動に協力しました。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- セカンドリーグ千葉などをとおして、地域活動・コミュニティビジネスに取り組む高齢者の支援及び地域活動団体のイベント開催に広報協力を行いました。

V 高齢者の安全、安心

- 組合員の学習会などを中心に、消費者被害の防止についての対策講座の開催に協力しました。

VI 高齢者の雇用

- 定年を迎えた職員の再雇用の環境整備や嘱託職員の新規雇用に継続して取り組みました。

以上